



# 高島幼稚園だより

令和 8 年 7 月号

板橋区立高島幼稚園

板橋区高島平 2-1 8-1

TEL 03-3934-5848

園長 井上 朋子

保幼小接続・小中一貫教育「高島なかよし通り学びのエリア」  
(高島幼稚園・高島第二小学校・高島第二中学校)

高島幼稚園  
ホームページ



## 「ツルツルじゃなくてザラザラがいい」

園長 井上 朋子

最近の年長児が遊んでいる様子から、様々に学んでいることや子どもらしい発想が見えてきたステキな遊びの様子をお伝えしたいと思います。

年長児が数人集まって、樋とビールケースを取りに行き、ビールケースやバケツ、ざるを逆さにして、階段状に並べ始めました。年長児は、今までも樋を使って遊んだことがあって、樋をつなげて水を流す楽しさを知っています。今までの経験から、水は上から下へ流れることや樋を重ねる方法があることを知っていることも会話の中から分かりました。

ビールケースの端からざるの上に樋を渡そうとしましたが、樋がとどかなかったので、バケツをどけたりビールケースを近づけたりして、樋の長さに合わせます。そこへ樋を置きました。樋が一時的には乗るのですが、何もしていないのにツルンと滑って落ちてしまいます。「あーあ」と言って何度も樋を置き直します。それでも、なぜか動いて落ちてしまいます。

「落ちちゃう」という言葉にみんなが集まってきて、「ツルツルだからじゃない」と言います。「ツルツルだからだめなんだ」と気付いて、「ザラザラにすればいいんじゃない」と言います。「そうだ」、子どもたちはみんな同じ気持ちになったようです。子どもたちなりの共通理解です。階段状に重ねるために持っていた物がツルツルしているのを見て「あっ」と言って、元に戻しに行きました。また、一人は小さなテーブルを取り出し、砂を敷き始めます。はじめは、どうして砂を敷き始めたのか分かりませんが、よく見ると、手触りを確かめながら砂を乗せています。そうです。それは子どもたちが考えたザラザラでした。先生もそれに気付いて、そのアイデアを取り上げて、樋の下に置くことになりました。その後も、様々な子どもたちの気付きがあって、水を流すことを楽しみました。子どもたちは大喜びです。

大人から見たら、もっと簡単な方法があるかもしれませんが、子どもたちは今の自分たちで考えた最高に良い方法を思い付きました。子どもたちは、自分たちができることを一生懸命探しています。大人が簡単に答えを出さない方がよいこともたくさんあるのです。まずは、子どもたちの世界に浸って、どんなことを考えているのか寄り添うと、楽しい発見があると思いました。子どもたちの姿から大人が学ぶことは、たくさんあるのです。



今年はプラムがたくさん実りました。3～4個は落ちてしまいましたが、食べられるものを数えると23個でした。昨年のプラムは、1個だけ実ったのですが収穫しようと思った翌日に無くなってしまいました。初めて、子どもたちや保護者の皆様、先生方と食べることができました。完熟したプラムは思ったより甘くて美味しかったので、皆さんで食することができて何より嬉しかったです。